

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会

# おれんじあさおの取り組み

令和8年2月13日(金)川崎市役所本庁舎

おれんじあさお共同代表 倉石知恵美

# 地域づくりの地域共生団体

発足 2023年2月1日 活動を開始して3年目

目的 認知症に対するさまざまな**偏見をなくし**  
**「共生」する社会**の実現を目指す

事業名称 (認知症)共生ひろば あさお



# 地域社会の現状

誰もがなりうる認知症、高齢化の進展やMCIを含めた認知症数が3人に1人という時代

今こそ認知症の正しい理解が必要で我が事自分事と捉えることが重要

もっと知って！知ることで豊かな暮らし、思いやりある地域づくりに繋がる

# 新しい、認知症観とは (2024年施行)

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人として  
できること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間  
等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続ける  
ことができるという考え方である



認知症施策推進基本計画の前文より  
(「認知症当事者の声」をそのまま引用)

## 古い認知症観(古い文化)

- ①認知症は他人事
- ②本人はわからない、できない
- ③自分らしさがなくなる
- ④問題をおこす人
- ⑤本人の声を聴かない  
人として当たり前(人権)を軽視
- ⑥地域とのつながりを断つ  
活躍の機会失う、支えられる
- ⑦あきらめ、孤立、絶望

## 新しい認知症観(新しい文化)

- ①認知症は自分事
- ②本人は分かる事、出来る事がある
- ③自分らしさがある
- ④本人は認知症バリアで苦しんでいる人
- ⑤本人の声を聴く  
人として当たり前のこと(人権)を守る
- ⑥地域とのつながりを保つ  
地域の大事な一員として活躍、支えあう
- ⑦あきらめず、楽しく、希望を育む

認知症観が古いままだと、互いに楽になれない

# 活動事例①ロバの日「買い物ツアー」

＜イトーヨーカドー新百合ヶ丘店との共同企画＞



イトーヨーカドー新百合ヶ丘店とおれんじあさおの共同企画

## 買い物ツアー

# ロバの日

その日はロバのマスコットを  
身につけるのが目的です

認知症の方や、買い物が困難な方  
の買い物をサポートします  
月に一度の外出を楽しみましょう。

毎月第2水曜日  
13:00～16:00 くらい  
場所: イトーヨーカドー新百合ヶ丘店

外出の機会の楽しみは生活の質 (QOL) を高めるのに大きな影響があります!

問い合わせ・申込先★任意団体おれんじあさお  
☎ 080-9301-8152 ✉ orangeasao@gmail.com  
ホームページ <https://ameblo.jp/orangeasao>  
2025/2/13



- ・あたりまえの日常を体験
- ・仲間がいれば実現可能
- ・自分で選ぶ自己決定
- ・買い物、外出を楽しむ
- ・会話を楽しむ
- ・コミュニケーションで笑顔

## 活動事例②「働く場」

＜パルシステム神奈川 麻生営業所＞との繋ぎ



企業の理解による就労への繋ぎ⇒生活の保障



認知症講座による認知症の理解を全ての職員対象に実施(ドライバー向け、事務員向け、スタッフ向け等)

学んだうえで対応方法を身に着け、共に働く仲間となる。

# 活動事例③モニター

＜大手食品メーカーの方の地域活動参加＞

- ・ 認知症のある暮らしの便利グッズの開発？

認知症カフェに参加し、当事者、家族、支援者、専門職の人たちと会話・・・

会話の中から、暮らしのヒントの言葉が拾える  
(コップの取っ手、鍋のふたは半分透けてるとわかる等、音が出る商品など、分かるように工夫されている商品等)



# 活動事例④「企業カフェ」

認知症講座⇒社員のお悩み相談や気持ちの共有



社員だって地域住民の一人！

家族の悩み、親の介護などの問題を抱えている



企業内で相談したり、解決できたら、仕事にも集中  
退職せずにする

# 振り返ってみてください

職場で親の様子が気になって集中できない社員はいませんか？

店舗で困っている高齢者にどう声をかけていいか分からないスタッフは？



# 支援の種は既にある！



- 企業は大切な地域資源です。地域とタッグを組むことで支援に繋がります。
- 家族会、当事者の声、これはつまりは社員の声でもあるのです。企業と地域のネットワークを繋げ、住みよい地域づくりを共に目指して行きましょう。

# 共生社会の実現に向けて

認知症にやさしい社会は、結果的にすべての人にやさしい社会



自分が所属している企業がやさしい社会づくりに繋がっているなんてステキ！！



# 知って得する地域の動き

## < 認知症キャラバン公式キャラクター > ロバ隊長



認知症の人が自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指した国の取り組み「**認知症サポーター養成講座**」を受講した方がその証としてもらえるサポーターカード。川崎市内ではカードと一緒にキャラクターである「**ロバ隊長**」の**マスコット**も配布しています。国の施策である認知症の普及啓発を地域住民が担い、その一助として活躍しているのが「ロバ君倶楽部」です。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをロバのように一步一步着実にすすんでいきます。

# 地域とコラボしてネットワークを広げませんか



地域資源である企業のみなさまと何か一緒にできることはないでしょうか



AIがいくら進化したからと言っても、インターネットに繋がっていない現場ならではの情報は山ほどある

企業としてそういった机上のデータでは見えてなかった課題を見つけ、その解決に自社の技術、資源が活用できるということに繋がればwin-winなのだと思います。



ご清聴ありがとうございました



おれんじあさおのQRコード